

福島県拒絶材料探し

2012.12.19 毎日

乳歯保存「反原発命の方の主張」

東京電力福島第一原発事故による子供の内部被ばくを調べるための乳歯保存を巡り、福島県議が昨年秋季の県議会で質問通告した際、保存を拒否できる見解の提供を、県が県民健康管理調査の検討委員会委員にメールで求めたことが分かった。県はメールに乳歯保存を「反原発命の方の主張」と記述。同委員会を巡っては、事前に秘密会を開いて意見調整していた問題などが発覚したが、県が特定意見を排除するため委員らを利用しようとした実態も浮かんた。(社会面に関連記事)

原発事故で放出される放射線物質「ストロンチウム90」はカルシウムに似た性質を持つため骨や歯に蓄積しやすいとされる。このため柳沼純子県議(自民)は昨年9月、「将来的にストロンチウム90の内部被ばくを分析するため、事故後に抜けた子供の乳歯の保存を県

県議の被ばく調査提案「乗る気ない」

らに一斉送信。「質問員(がそう)ではないですが、反原発命の方の主張でもあるように、あまり乗る気になれない質問です」と記していた。

県の要請に委員側が応じたかどうかは不明だが、柳沼議員は昨年10月4日の県議会本会議で一般質問。当時の保健福祉部長は「(乳歯保存の)有用性について覚えていない。専門家

らに一斉送信。「質問員(がそう)ではないですが、反原発命の方の主張でもあるように、あまり乗る気になれない質問です」と記していた。

県の要請に委員側が応じたかどうかは不明だが、柳沼議員は昨年10月4日の県議会本会議で一般質問。当時の保健福祉部長は「(乳歯保存の)有用性について覚えていない。専門家

検討委にメールで依頼

矢ヶ崎克馬・琉球大名教授(物性物理学)の話 1950年代以降の米国での調査で、子供のがん発生とストロンチウム90の内部被ばくに相関関係があることは裏付けられている。福島でも将来的な健康被害を調べるために乳歯を保存する必要がある。それを「反原発の主張」との理由で返けたいというのは、原爆などの内部被ばくによる健康被害を隠してきたこれまでの歴史の繰り返しになりかねない。

福島被ばく調査 乳歯保存「拒否」

「子供守る責任放棄」

歯科医、県の対応批判

原発事故後の福島県の子供たちの内部被ばくを調べるため乳歯の保存を呼びかけた県議会での提案に対し、福島県が「反原発命の主張」とレッテルを貼り、拒否のための情報収集をしていた実態が明らかになった。復興に向け「脱原発」を掲げる中で県の言動とあって、提案した県議は「事故で被害を受けた県としてあってはならない」と憤った。

【日野行介】

「脱原発」方針と矛盾

同県郡山市選出で自民党の柳沼純子議員(66)は昨年夏、広島市立大広島平和研究所の高橋博子講師が内部被ばくの証拠を残すため乳歯の保存を呼びかけているのを新聞記事などで知った。高橋講師に連絡を取り、その意に賛同して昨年秋の県議会で取り上げるのを決めたという。柳沼議員は「内部被ばくがあったか(の証拠を)残せる方法。ど

県は昨年8月、「脱原発」という考え方の下、原子力に依存しない社会を目指す」とする「復興ビジョン」を決定。柳沼議員は「原発

はいろいろな言い方があるが『反原発だから』という理由で(乳歯保存を)嫌がるのはおかしい。前向きな答弁があきれたように話す。

怒りをあらわにした。乳歯による内部被ばく検査を巡っては、千葉県松戸市の歯科医院「きょうどう歯科新八柱」が保護者らに提出を呼びかけ米国の分析機関に乳歯を送って検査する活動をしている。約200人の乳歯が集まったという。藤野健正院長は「福島県が、呼びかけることすら嫌がるなんて信じられない。子供を守る責任を放棄している」と

県が提案を退けるため「理論武装」に頼ったのは、全県民を対象に実施している県民健康管理調査について話し合う検討委員会のメンバー。検討委を巡っては、約一年半にわたって秘密裏に準備会(秘密会)を開いて事前に意見を調整したり、議事録から内部被ばくに関する記述を削除して情報公開したりするなど、不透明な運営が次々と発覚。県は10月に内部調査を実施したが、報告書はこのメールについては一切触れていない。

◆担当者が送ったメール全文◆

「県民健康管理調査」
検討委員会 各委員様
健康管理調査室 ○○○○
(※原文は実名)

明日から開会の9月議会の質問で、自民党柳沼純子議員から「将来的な、ストロンチウム90の内部被ばく分析のため、乳歯の保存を県民に呼びかけてはどうか?」という内容があがってきています。

このままだと、「専門家の意見も聞きながら検討してまいりたい。」といった答弁になりそうですが、現在の状況を踏まえると、あまり意味はないといった知見・情報はないでしょうか?

質問議員ではないですが、反原発命の方の主張でもあるようで、あまり乗る気になれない質問です。

情報があれば、至急お願いいたします。

2012.12.19 M

福島県が謝罪

乳歯保存「拒否」

微妙」などの見解が寄せられたという。

菅野部長は「専門家に(担当者)一個人の考えを含めた形で、見解を尋ねたのは甚だ不適切な行為」としながらも「これは県の見解ではない」と強調した。乳歯保存は「国に検討を要請している」と話した。

【蓬田正志】

保健福祉部長は19日、「県民の皆様にご迷惑をおかけし、大変ご迷惑をおかけしました」と陳謝した。

同日の県議会福祉公安委員会での問題について説明した。菅野部長によると、県側のパソコンでは送信メールの保存をしていなかったため、送信先の委員らに内容を照会中という。一方、担当者のメモから、メールや電話で少なくとも5人から「将来のため保存した方がいい」「調査は